

令和
6年度版
小学校
道徳

第一教材・第二教材のご案内

道徳が 始まるよ

きみが
いちばん
ひかるとき



道徳との幸せな出会いを

p.4・5

1 どうとくが始まるよ

三 年 生 の 道 徳 科 教 科 書

4

「道徳って、何を学ぶんだろう」「道徳って、どうやって学ぶんだろう」自分の心と向き合う道徳の学びは、国語や算数より、ちよっぱりイメージしにくいかもしれません。子どもたちも新任の先生も、一年間の道徳のはじめに、道徳では何を学ぶのか、どうやって学んでいくのかをしっかりとイメージし、授業に臨めるよう

第一教材・第二教材を工夫しました。

p.6・7

2 話し合いの大切さを意識する



もやもやん

1 何を学ぶのかを知る

各学年で扱う内容項目を、自分の心を開く「扉」になぞらえ、シンプルな言葉とイラストで紹介しています。道徳はどんなことを学ぶ教科なのか、子どもたちに楽しく伝わるようにしました。この「扉」は、各教材の冒頭にも示されており、その日の道徳の授業で、どんなことを考えるのかを、一人一人がしっかりと自覚できるようにしています。

みんなて気持ちよく話し合うための

1 話し合っている人が何を言いたいのかを、考えながら聞こう。

2 話し合いのときは、まず、「あいいうえお」でこたえよう。



20のどく

自分について

- 1. 正しいと思ったことを、どう思うか
- 2. 正直に明るく心で生活する
- 3. ちょうどよい生活をする
- 4. 自分のよいところをのぼす
- 5. 自分できめためあてをやりぬく
- 6. あいを思いやり、すすんで親切にする
- 7. ささえてくれたる人に、かんしゃする
- 8. だれにでも、ま心をもてて
- 9. 友だちと、しんじあい、たすけ合う
- 10. 自分とちがう考えを大切に

社会とのかかわり

- 11. やくそくやきまりの大切さを考える
- 12. 分けへだてをしない
- 13. すずんでみんなのために
- 14. 家ぞくみんなて楽しい家ていをつくる
- 15. みんなて楽しいクラスや学校をつくる
- 16. 国や地いきを大切に
- 17. ほかの国のぶんに親しむ
- 18. いのちあるものを大切に
- 19. しぜんやどうしよくぶつを大切に
- 20. 気高いものを心にかんじる

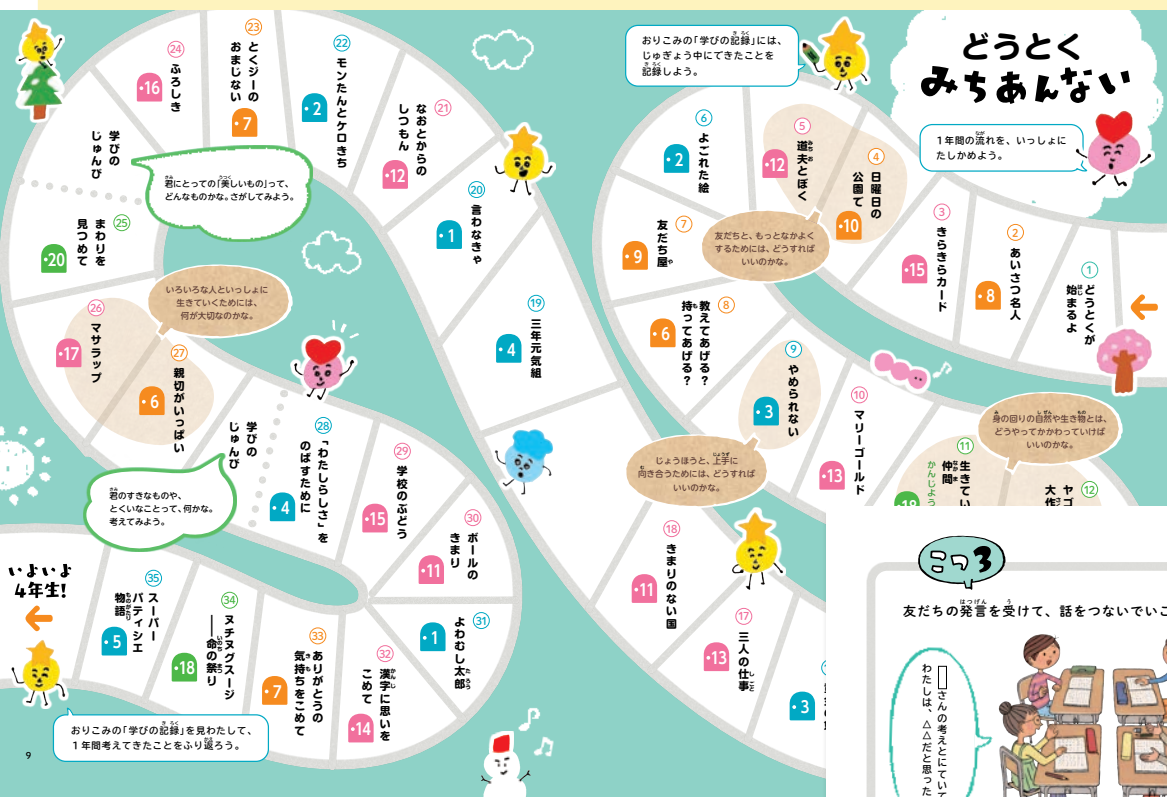
いのち、しぜんとのかかわり

3年「1 どうとくが始まるよ」p.4・9

どうとく みちあんない

1年間の流れを、いっしょにたしかめよう。

おりこみの「学びの記録」には、じゅぎょう中にできたことを記録しよう。



3 1年間を見渡す

「道徳 みちあんない」は、一年間の学びの流れを見渡すページです。視覚的に、「なんだか楽しそう」「たくさん扉を開いていくんだな」と、一年間の学びに期待をもてるようにしました。一年間の学びを見通すと同時に、自分の学びを振り返るときにも役立ちます。先生方にとっては、現代的な課題を扱う時期や、事前に学習しておくことが有効な教材はどれかなどを確認する際に役立ちます。

教科書p.4のQRコードを読み込んでみよう。動画でそれぞれの内容項目を紹介するよ。



第一教材は、こうやって活用できる！

一年間の最初の一時間の在り方は、地域・学校のカリキュラムや学校教育目標等によってさまざまです。光村図書の第一教材は、各学校やクラス、児童の実態に合わせて、柔軟に活用することができます。ここでは、例として、次の三つの授業の展開をご紹介します。

パターン 1

第一教材を用いて、
道徳の授業の土台を
共有する一時間。

- ①「道徳で学ぶ22のとびら」のページを見て、22の扉（低学年19、中学年20、高学年22の道徳的価値）を確認。道徳では何を学ぶのかを押さえます。
気になった扉を発表し合ったり、この一年間で特に考えたいのは、どの扉かを出し合ったりします。
【10分】
- ②「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」のページにある三つの「こつ」を確かめます。「こつ」を使って、簡単な話し合い活動を行い、相手の意見を受け止める姿勢を意識します。
【30分】
- ③「道徳 みちあんない」を指でたどりながら、この一年間で出会う教材や、吹き出しにある呼びかけを確認します。興味をもった教材や、早く取り組んでみたい教材を出し合って、道徳の授業に期待を膨らませます。
【5分】

パターン 2

第一教材を簡単に確認し、
第二教材をメインに
取り組む一時間。

- ①第一教材で、道徳では何を学ぶのか、話し合いのこつ、一年間でどんな教材と出会うのかを、簡単に押さえます。
【10分】
- ②第一教材で押さえた「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を意識しながら、第二教材に取り組めます。
【35分】

道徳のオリエンテーションは、
読み物教材を使って
考えさせたいという
クラスにおすすめです。

「なんだろう なんだろう」
(ヨシタケシンスケ 作・絵)
を含めると、
1年間で35時間の
授業時数になるよ！



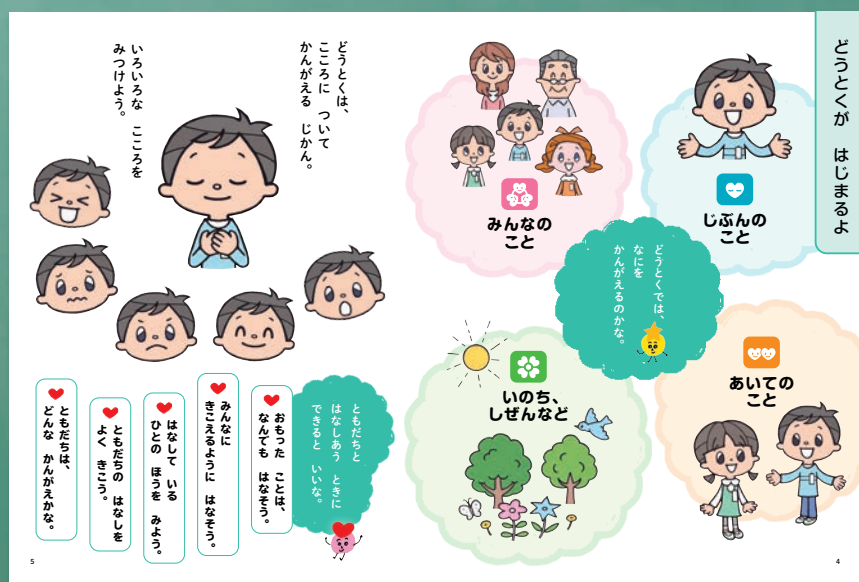
パターン 3

話し合いの「こつ」を、
「なんだろう なんだろう」で
体験する一時間。

- ①「道徳で学ぶ22のとびら」のページを見て、道徳では何を学ぶのかを押さえます。
【5分】
- ②「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を確かめ、「なんだろう なんだろう」(ヨシタケシンスケ 作・絵)を読んで話し合います。
【35分】
- ③「道徳 みちあんない」を指でたどりながら、一年間の学びを見通します。
【5分】

「なんだろう なんだろう」を使って
話し合いの「こつ」を確かめることで、
話し合うことのおもしろさが、
より実感しやすくなります。

入門期 初めての「どうとく」



1年「どうとくはじまるよ」p.4-5

「どうとく」という言葉に、生まれて初めて出会う小学1年生。何を学ぶのかと、わくわくしていることでしょう。

その「わくわく」に応えられるよう、教科書の冒頭で、道徳におけるAからDの四つの視点を1年生にもわかる言葉とイラストで示しました。また、「ともだちとはなしあうときにできるといいな。」と、対話における基本的な姿勢も示しています。この後に続く第1教材から第5教材にかけて一つ一つ再提示し、ゆっくり時間をかけて、道徳の授業で大切な対話を意識できるようにしました。

「学び方」を学ぶ

第二教材では、
教材と主体的に向き合っていけるよう、
「道徳の学び方」の例を示しました。



2 あいさつ名人

「あいさつ名人」をもちに、
ていねいの学び方をしよう！



だれにでも
ま心をもち
ていねい

どうくつの学び方

いつも
自分磨き
をしよう！



読むときには

- いなを思うところは？
- どうしてかな、問題だな
- と思うところは？
- 自分くらべて
- 気づくことは？

道徳の学びの流れに沿った「考えたいことに気づく」「よりよい生き方について考える」「学んだことをつなげる」の3つのステップを提示しました。教材とどんな姿勢で向き合うのか、学習活動を通してどんなことを考えるのかを示したものです。第二教材に限らず、ほとんどの教材に応用できるステップです。

一年間、子どもたちといっしょに学んでいくキャラクターが、教材に対する疑問や、いいなと思ったことをつぶやきます。これは、「教材との対話」です。教材の中の道徳的な課題を、文章の読み取りにとどめず、自分のこととして捉えるという道徳の学び方を意識することが出来ます。

友達と話し合ったり、考えたことを書いたりするときの観点を示しました。「他者との対話」「自分との対話」を意識することが出来ます。

これまでの自分を振り返り、これからの自分の生き方を考える、他者を理解する、人間を理解する。そのために、自分に何を問いただければよいのかを示しました。

「教材との対話」
「自分との対話」
「他者との対話」
が大事なんだね！



ぼくは、「あいさつ名人」とよばれている。
「おはようございます。」
「こんにちは。」
ほんのちよつと、勇気がいるけど、ほんのちよつと、むねがどきどきするけど、ぼくは、いつも大きな声であいさつをする。
同じクラスのせいやくくんは、「とおるくんはいいな。大きな声であいさつができて。ぼくは、あいさつが苦手なんだ。」
と言う。
そう言われれば、せいやくくんは、はずかしがり屋で声も小さかったな。ある朝、せいやくんと学校へ行くところ、近所のおばあちゃんに、会った。
「おはようございます。」
「おはようございます。」
と、あいさつした。おばあちゃんは、「はい、おはようございます。」と、返事をしてくれた。でも、せいやくくんは、おばあちゃんをだまて見ていた。それからゆつくりと、「足、だいじょうぶですか。」と、声をかけた。
「まあ、ありがとう。ちよつとつまずいてね。心配してく



れたのね。
おばあちゃんは、うれしそうにわらった。たしかに、おばあちゃんはずし足を引かずしていた。せいやくくんが、おばあちゃんの顔をじつと見ていたわけが分かった。ぼくは、おばあちゃんの顔しか見ていなかった。
せいやくくんはおばあちゃんに、「お大事にしてください。」と言った。
せいやくくんこそ、本当の「あいさつ名人」だ、ぼくは思った。
上原さなえ作 スギヤマカナヨ絵



考えたいことに気づく

大きな声で
あいさつが
できるところが
いいな。
せいやくくんは、
おばあちゃんを
だまて見ていたとき、
どんなことを
考えていたのかな。



考えたいことに気づく

自分だったら、
こんなとき、
何て声を
かけられるかな。

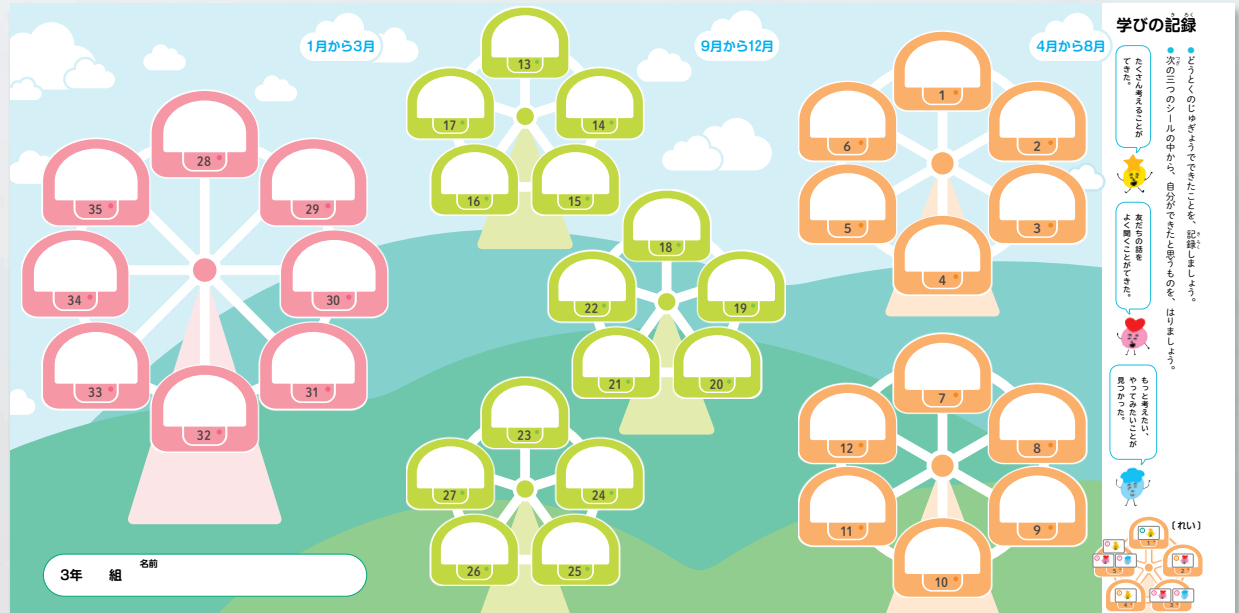


よりよい生き方について考える

- 自分は、これまで、どうだったかな。
- 友だちと自分の考えは、どんなところが同じで、どんなところがちがうのかな。
- 今日考えたことは、かんたんにできることかな。
- 自分は、これから、どうしたいかな。

学んだことをつなげる

話し合ったり、
書いたりするときには



学びの記録シール					
たくさん考えた	よく聞いた	もっと〇〇したい	たくさん考えた	よく聞いた	もっと〇〇したい
19	19	19	19	19	19
20	20	20	20	20	20

3年「巻末 学びの記録」折込

巻末の折込には、1時間ごとの学びを簡単に記録できる「学びの記録」を用意しました。低・中学年はシールを貼ることで、高学年は一言感想を書きためることで、自分の学びを蓄積していきます。1年間の学びを一望できるので、子どもたちはもちろん、先生や保護者の方々も、子どもたちの成長を確認できます。

4月中旬
公開予定

光村図書 特設ウェブサイト

<https://www.mitsumura-tosho.co.jp/O6s-kyokasho/dotoku/>



「年間指導計画資料」や
「観点別 内容と特色」等の
データをダウンロードする
こともできます。



令和6年度版小学校道徳教科書
の編集の基本方針や特色など、
教科書紙面と共に
ご紹介します。



学習指導書のご案内や、
学習者用デジタル教科書や
指導者用デジタル教科書(教材)の
体験版もお試しいただけます。



内容解説資料

発行者 吉田直樹

発行所 光村図書出版株式会社

〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
TEL 03-3493-2111(代表)

印刷 協和オフセット印刷株式会社

デザイン nimayuma

光村図書ウェブサイト

光村図書 | Q

QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



光村図書